「水源地をきれいにするキャンペーン」&「エコクラブ探検隊」活動紹介について

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会　会長　髙井　豊司

はじめに

当青年部協議会は、次世代を担う企業の後継者並びに指導者を育成するため、全国各地で水道をはじめとする管工事業に携わる青年部団体の中核的存在として、1997年（平成9年）2月15日に設立されました。発足当初より活発な事業を展開し、会員数も毎年増加しており、現在北海道から九州に至る30団体、1,500名以上の会員を抱える全国団体に成長をしております。

活動の目的および概要

私たち企業人は、各地で経済活動を行う代償として、地球環境問題に対する積極的な取り組みが求められています。そこで「水」を生業とする私たちが、それを守る責任と自覚を再確認することが必要だと考え、この企画が発案されました。

まず、1998年より当組織のもつ全国的なネットワークを活かし、各地の水源地をきれいにする美化活動を全国一斉に、かつ広域的に実施することから始めました。活動期間を厚生労働省の環境週間に併せて毎年実施するなか、現在では私たち会員に留まらず、水道事業に携わる行政関係者をはじめ、様々な人々の支援・協力をいただきながら、地域住民の参加のもと「水源地をきれいにするキャンペーン」を展開しています。

子供たちも清掃活動に参加（宮城）

回収したゴミを前に記念撮影（岡山）

そして、この活動を通じて、特に子供たちの水環境への関心の高まりを実感し、子供たちが本来持っている環境への感性を磨き、環境に対する自分の責任と役割を自覚する心を育てることが大切だと感じました。その試みとして、2001年より各地で環境問題研究教室「エコクラブ探検隊」を結成し、子供たちと様々な体験学習・研究会・見学会・勉強会等を同キャンペーン中に実施し、環境倫理を育てる絶好の機会となっています。

エコクラブ探検隊への参加を呼びかけるチラシ

沈でん池の説明を聞く子供たち（和歌山）

また1999年から年一回、これら活動の全体報告会を行ない、前年度の活動について活動報告書をもとに事例発表や提言を行いながら、会員間の勉強の場としてより一層の啓蒙活動に努めています。

これまで作成された報告書

太田川源流の森　水源涵養モデル事業

報告書は開催した単組青年部ごとにまとめられる（広島）

活動のポイント

この活動は、水に携わる企業人として水の恩恵を授かる私たちが、地域社会に還元できること、それは水資源の大切さをわかり易くアピールすることとの発想が発端です。ただ単に、当協議会組織を活用した全国規模で、かつ取り組みやすい啓蒙活動にとどまらず、当協議会がパイプ役となり、各地域における水資源関係行政や企業、地域住民が一体となった「水」ネットワークの構築が重要との考えに基づいています。

なお、同キャンペーンを実施する上では、参加意欲のある水源地のない地域の青年部単組には、水源地のある隣接青年部とタイアップしてもらうなど、当協議会としての一体感は失わないよう留意しました。

一方、「エコクラブ探検隊」の開催では、将来を担う子供たちが、環境にやさしくふれあう感性や自然・社会環境の生態的システム、資源・経済・環境の循環システムの認識能力を啓発していくことが必要であり、環境保全に積極的に参加できる人間の育成が大切であるとの考えを基本として活動してまいりました。

なお、「エコクラブ探検隊」は参加人数が多く、各青年部単組の費用負担が大きいので、関係団体に助成金を申請し補助事業として認可して頂くなど、金銭面についても工夫をしました。

舟を使った清掃活動（福山）

「水源地をきれいにするキャンペーン」&「エコクラブ探検隊」活動紹介について

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会　会長　髙井　豊司

リサイクルプラザで説明を聞く参加者（宮城）

おわりに

当初、全国各地で会員中心に行われてきた同キャンペーンでしたが、年を追うごとに家族や子供たち、並びに関係行政や地域住民の積極的な参加へと輪が広がり、各地域への理解・浸透のみならず、全国規模で一斉に取り組む啓蒙活動として認知されてきています。

また、途中から同時開催された「エコクラブ探検隊」は、学校教育以外の時間で、親と子供、行政や企業、地域住民が直接触れ合う生きた社会学習下の（水）環境教育の一環として成果をあげています。

そして、毎年の全体報告会の中で、同キャンペーンで得た体験から会員一人一人が水を生業とすることに誇りを感じ、各地域で様々な市民活動に参加し貢献していることが報告されています。このように、通算6年を重ねる同活動は、上記のような一定の成果と、多大なる評価を頂きました。

しかし、私たちの活動にゴールはありません。

将来的には、「水源地をきれいにするキャンペーン」では、美化活動のみならず天災時の水防災について、地域住民、企業、行政が一体となった自発的な災害対策の取り組みにまで進展させ、また「エコクラブ探検隊」では、現在行われている各地での研究会・勉強会に加え、統一したテーマによる学術研究など、全国的なネットワークをフルに活用し、さらなる活動を今後も展開していきたいと考えています。